

NTRに関するリサーチ結果報告 どうして私たちはNTRが好きなのか

当研究所（RIHS）は、NTRに関するリサーチを実施いたしました。

NTR（寝取り・寝取られ）は、日本における一大コンテンツであり、2018年には、最も人気のある同人誌のジャンルとなっています*1。

「自分の恋人が寝取られる・他人の恋人を寝取る」という特殊なジャンルが人気を博した理由を進化心理学の観点から検討しましたので、報告させていただきます。

※1：FANZA (2018). 【FANZA REPORT 2018 同人編】コミケ直前「同人に関する統計調査」緊急結果発表！

調査設計

調査方法	：インターネット調査
調査対象	：18歳以上の個人
調査実施時期	：2020年8月5日
サンプル数	：236名（女性123名 男性113名） 平均年齢 = 51.08歳 SD = 12.27
調査内容	：NTRに関する物語を読んでもらった後に、 4種類の質問に回答していただきました。

【調査に関するお問い合わせ】 ご連絡の際は「※」は「@」に変えてください
RIHSホームページ：<http://institute-of-hentai-studies.org>
Twitterアカウント：※hentai_studies
連絡先：institute.of.hentai.studies※gmail.com

調査結果要旨

NTRの定義

夫・妻・恋人といったカップルの一方と、合意の上で、性的な関係を持つ、実際の、もしくは物語上の行為のこと。

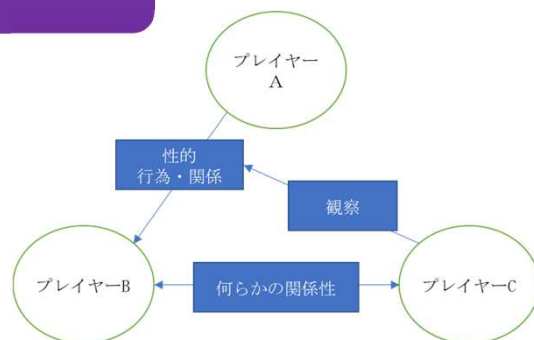


Figure 1 NTRの相関図

進化心理学から見たNTR

進化心理学では、NTRを含む性的嗜好を、**生殖にとって適格的であるか**という観点から考えます。つまり、**寝取る人**（プレイヤーA）は自身の子孫を残す可能性が増えるという点で**生殖に適格的**です。しかし、**パートナーを寝取られる人**（プレイヤーC）は、自身の子孫を残す可能性が減るという点で、**生殖に適格的とはいえません**。

リサーチの検討事項

本リサーチでは、このような進化心理学とNTRの関係性を踏まえ、次の4つの仮説を検証しました。

- ①プレイヤーAに感情移入するほど、NTRは好まれる
- ②プレイヤーCに感情移入するほど、NTRは好まれない
- ③NTRによって優越感を感じるほど、NTRは好まれる
- ④NTRによってマゾヒズム的快楽を感じるほど、NTRは好まれない

リサーチ結果

NTRの物語を研究協力者に読んでもらった上で、質問に答えてもらった結果、男女差はあるものの、①と③は支持されました。一方、②と④は支持されませんでした（詳細な分析結果は【報告書】をご覧ください）。

調査結果概要

○プレイヤーAに感情移入するほど、NTRは好まれる

男性では進化心理学の観点から適合的と思われるプレイヤーAに感情移入する人ほど、NTRを好むという結果が得られました。他方、女性では、プレイヤーCに感情移入をしない人ほどNTRを好まない傾向が見られました。

○プレイヤーCに感情移入するほど、NTRは好まれる

私たちの考えた仮説は支持されず、男女問わず、パートナーを寝取られる人に感情移入する人ほど、NTRを好むという結果が認められました。

○NTRによって優越感を感じるほど、NTRは好まれる

女性において、この仮説は支持されました。すなわち、NTRの物語を読んで優越感を感じる女性ほどNTRを好むことがわかりました。一方、男性では、そうした傾向はありませんでした。

○NTRによってマゾヒズム的快楽を感じるほど、NTRは好まれる

私たちが考えた仮説は支持されず、男女両方において、マゾヒズム的快楽を感じるほど、NTRを好むことがわかりました。

○男性の方が女性よりもNTRを好む

男性の方が、女性よりも、NTRの物語を好むことが明らかになりました。このような結果が見られた理由としては、進化心理学の観点から、生殖に対して男性と比べてより多くの投資を必要とする女性は、パートナーと安定した関係性を築くように動機づけられやすいことが考えられます。

結論

本リサーチの結果、NTRには性的な優越感を覚えさせる要素とマゾヒズム的な快楽を感じさせる要素があり、これらの要素に興奮を覚える人ほどNTRを好むことが分かりました。つまり、NTRには性的な優越感というある種サディズム的な快楽とマゾヒズム的な快楽という本来相反する性的嗜好に同時に訴えかける力があり、そのような理由から私たちはNTRを好むのだということが実証的に明らかにされました。

今後の課題

・協力者及び物語内における性別差

本リサーチで題材としなかった様々な性的志向のカップルが題材となる物語も今後の研究の範囲に含め、また、分析においても多様な性的志向を考慮した上で行うべきと考えます。

・仮説②へのより詳細な検討

当初は、NTRを選好する人はマゾヒズム的快楽には性的興奮を覚えまいだろうと考えていましたが、両者はむしろ比例関係にあることが分かりました。この結果は進化心理学の観点からは説明しにくいものであり、マゾヒズム的快楽の性質等については実証が不足しており明確でない部分も多いため、今後詳細な研究を行っていく予定です。

今後とも、RIHSでは継続して調査を行いますので、当研究所の活動や理念にご賛同いただける方、ご関心がある方は、ホームページのブックマークやTwitterへのフォローをお願いいたします。

RIHSホームページ：<http://institute-of-hentai-studies.org>

Twitterアカウント：※hentai_studies (※は@に変えてください)